

ASTRA ファミリー 取扱説明書

このたびはLitepanels製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。製品のご使用前にまずこの取扱説明書をご一読いただき、製品を正しくお使いください。また、本書は必要な時にいつでも参照できるよう、大切に保管してください。

※ご注意:

Astraファミリーは、光出力レベル、色温度、および前面光学部が異なる3ラインナップ／計5モデルから構成されています。仕様の違いにつきましては、下表をご参照ください。

Astra 6X	Astra 3X	Astra SOFT
光出力 614 [ft-cd]／6,612 [lux] (Daylight光モデル; 距離 1.5[m])	光出力 364 [ft-cd]／3,922 [lux] (Daylight光モデル; 距離 1.5[m])	光出力 109 [ft-cd]／1,178 [lux] (Daylight側; 距離 1.5[m])
Bi-Color (色温度調節機能付き) 製品コード: 935-1023	Bi-Color (色温度調節機能付き) 製品コード: 935-2023	Bi-Color (色温度調節機能付き) 製品コード: 935-5021 ※ソフトディフュージョン(光拡散) 光学部搭載モデル
Daylight (デイライト光専用) 製品コード: 935-1021	Daylight (デイライト光専用) 製品コード: 935-2021	



Astra SOFT Bi-Color
(ソフトディフュージョン光学部搭載モデル)

Astra 6X Bi-Color
(TIR光学部搭載モデル)

安全上の注意事項:

製品をご使用になるお客様および他の方々に対する危害や、財産への損害を未然に防止するために、危険を伴う操作・取扱いについて次の記号で警告表示をしています。これらの内容をご理解の上、必ずお守りください。

 警告	取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
 注意	取扱いを誤った場合に使用者が軽傷を負う可能性が想定される、あるいは物的損害のみの発生が想定される内容です。

 警告	製品の使用中に発煙、異音、においなどの異常が発生した場合は、直ちに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
 警告	製品の放熱を適切に行うために、製品側面や背面にある換気孔は塞がないでください。
 警告	ストーブやヒーターなど、熱を発する機器のそばに設置しないでください。
 警告	製品を水に浸したり、濡らしたりしないでください。湿度の高い環境でのご使用はお控えください。
 警告	以下のような場合は、販売店に点検をご依頼ください。 <ul style="list-style-type: none"> ・電源アダプターや電源ケーブル、電源プラグ部などが破損した場合。 ・強い衝撃を与えた、落下させた、キャビネットが破損したなどの場合。 ・内部に水が入った、雨に濡れたなどの場合。
 警告	電源コードに重いものを乗せたり、挟んだり、強く曲げたりしないでください。特に電源プラグ部分や、電源アダプター／製品本体からコードが出ている部分に、無理な力を加えないでください。
 警告	指定された電源アダプターと電源コード以外は、使用しないでください。
 警告	電源アダプターは、AC 100[V] 50/60[Hz]の安定した電源が供給される場所（壁面コンセントなど）に接続し、アースを取ってください。製品に同梱されている電源コードは、日本国内向け仕様です。
 警告	製品の分解や改造は行わないでください。
 警告	取扱説明書の指示に従って設置してください。
 注意	周囲温度が65[°C]を超える場所での設置、使用、移送、保管は行わないでください。
 注意	製品の設置に際して地域の法令や規則などがある場合は、それに準じた対応を行ってください。必要に応じて、安全ワイヤーなどの補助具をご用意の上、設置してください。

各部の名称:



左:Astra 6X Bi-Color (側面)

右:Astra SOFT Bi-Color (側面)



設置方法:

Astraファミリーは、標準的な照明マウント金具に吊り下げたり、ライトスタンドに取り付けたりして設置することができます。標準TVMP受け金具が予めヨークに装着されていますが、必要に応じて取り外し、市販の標準マウント金具(1/2インチ穴に対応した取り付けヨーク)を使用する事も可能です。

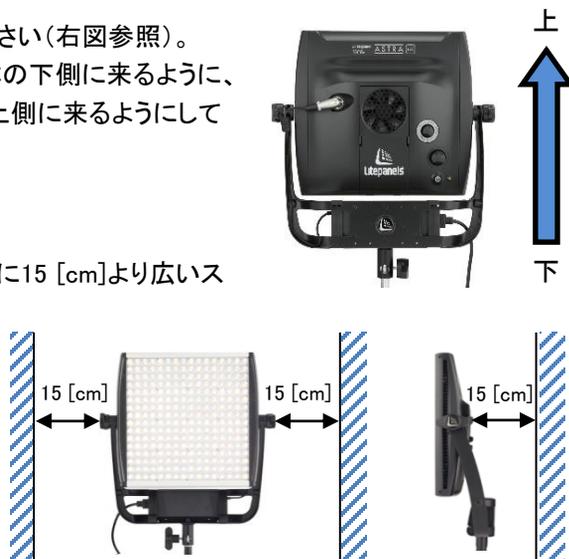
製品の設置に際して地域の法令や規則などがある場合は、それに準じた対応を行ってください。必要に応じて、安全ワイヤーなどの補助具をご用意の上、設置してください。

⚠ 注意:

本体は、常に製品ラベル側を上にして使用してください(右図参照)。スタンド上に設置する場合は取り付けヨークが本体の下側に来るように、また天吊りにする場合は取り付けヨークが本体の上側に来るようにして設置します。

⚠ 注意:

本体の過熱を防ぐために、本体の左右および背面に15 [cm]より広いスペースを確保し、適切な換気が行われるようにしてください(右図参照)。アクセサリを本体に装着する場合も同様に、本体への通気を確保してください。安全のため、Litepanelsの純正アクセサリをご使用ください。



電源の供給:

Astraファミリーは、XLR3ピンのDC出力プラグを介して本体背面のソケットから電源供給を受けます。電源アダプターは、保持ブラケットによって取り付けヨークに固定されています。電源アダプターを取り外す際は、まずDC出力プラグを本体から外し、続いて電源アダプターを支えながら、取り付けヨーク底面側(TVMP受け金具側)にある2つの保持ブラケット固定ツメを押し、保持ブラケットごと取り外します。

⚠ 注意:

- 電源アダプターは、ライトの使用中に発熱します。
- ライトの使用時には、電源アダプターのDC出力プラグがライト背面のコネクターに接続され、きちんとロックされていることを確認してください。

※ オプションのアントンパワーVマウントバッテリーブラケットを使用することにより、取り付けヨークにバッテリーを装着することができます。バッテリーブラケットは、取り付けヨークの背面(電源アダプターの反対側)に、ねじ4本で固定します。



保持ブラケット固定用ツメ
(左右に計2つあります)

DC電源入力用Rコネクター(XLR3ピン):

AstraファミリーにDC電源を供給するXLRコネクターの配線は、以下のようになっています。

- ピン1: GND
- ピン2: プラス電圧

本体への給電を完全に切る場合は、プラグを外してください。



電源スイッチ:

本体の電源を入れるには、背面の電源スイッチを押し込みます。

この時、電源インジケーターが緑色に点灯します。電源を切るには、再び電源スイッチを押し込みます。

ディマー調節ノブ:

ディマー調節ノブを操作することにより、光出力を100%から0%(消灯)まで調節することができます。ディマー調節ノブは電源スイッチのすぐ上に配置されており、時計方向一杯に回すと100%、反時計方向一杯に回すと0%の輝度となります。ディマーを調節しても、光の色温度は変化しません。

照明を短い間(90分未満)消灯する時は、電源スイッチの入/切ではなくディマー調節ノブの操作で消灯させてください。これは、本体内部の温度管理システムを継続動作させ、内部の電子部品の冷却を適切に行うためです。

色温度調節ノブ(Bi-Colorのみ):

色温度調節ノブを操作することにより、投射光の色温度をタングステン光からデイライト光まで調節することができます。色温度調節ノブは、ディマー調節ノブの上に配置されており、時計方向一杯に回すとデイライト光に、反時計方向一杯に回すとタングステン光になります。色温度を適切に設定するために、基準値(ホワイバランスカードなどで確認)を参照して調節を行います。

ノブには、照射光の色温度の目安を表す数値が記載されています。(厳密な値を表すものではありません。)

⚠ 注意:

オプションの通信モジュールを経由してDMX512などの有効な制御信号が加えられた場合、ディマー調整ノブあるいは色温度調節ノブによる設定は一時的に無効となります。

制御信号が停止すると、調節ノブによる手動設定が可能となります。制御信号が停止した時点では、ディマーおよび色温度の設定状態は停止直前のものが保持されます。

冷却ファン(6XおよびSOFT):

Astraファミリーには、冷却ファンおよびそれを駆動する温度管理システムが搭載されています。

システムは本体の内部温度を検出し、LED素子や電子回路の動作寿命を延ばすための温度管理を自動的に行います。冷却ファンスイッチがON(AUTO)設定である時、検出アルゴリズムはファンの回転開始タイミングと

回転速度を自動的に制御します。冷却ファンスイッチをOFFに設定するとファンは回転しなくなりますが、光出力はファン回転時と比較して半分となります。

冷却ファンスイッチは、通信モジュール(オプション)装着部の内側に配置されています。装着部にはカバーが付いており、2つのツメを共に内側方向に押すことにより手前に外すことができます。スイッチは内部スペースの向かって右上方向にあり、上に設定するとON(AUTO)、下に設定するとOFFになります。

冷却ファンモジュールは交換可能なパーツです。交換する際はまず本体の電源を切り、電源アダプターからのDC出力プラグを外してください。続いてカバーを外し、冷却ファンモジュールを固定している2つのツメを共に上げて手前側にずらすことにより、外すことができます。

最後に、内部基板に接続されているワイヤーをコネクタから外します。

新しい冷却ファンモジュールを取り付ける際は、まずワイヤーを内部基板上のコネクタへ接続します。続いて冷却ファンモジュールの上部にある突起2つをスリットに挿し込み、下部の2つのツメを押し込んで固定します(ワイヤーを挟み込まないようにご注意ください)。最後にカバーを取り付け、DC出力プラグを本体に接続します。

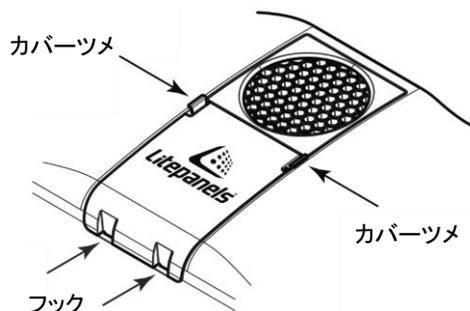


冷却ファンユニット
固定ツメ(2箇所)

冷却ファンスイッチ
(カバーを外した内側)

通信モジュール(オプション):

Astraファミリーをリモート制御するために、オプションとして通信モジュールが提供されています。通信モジュールの装着部には、予めカバーが付けられています。通信モジュールを装着する場合は、まずカバーの上側にある2つのツメを共に内側方向に押し、カバーを手前に外します。続いて通信モジュールの下側のフック2か所をスリットに挿し込みモジュール上側の2つのツメを押し込んで固定します。



エラー表示について:

Astraファミリーは、背面の電源スイッチ右手にある電源インジケータの点灯/点滅により、本体の状態を通知するようプログラムされています。状態および対応方法につきましては、下表をご参照ください。

インジケータLEDの点滅状態	意味/原因	本体の状態/注意と対応方法
緑色に点灯する(ライトは点灯せず)	ディマーの絞り過ぎ	ライトの動作は正常。 → ディマー調整ノブを回して光量を上げる。
緑色に点滅する	ライトの起動中	ライトの動作は正常。起動完了後、インジケータは緑の点灯状態となる。
赤色に点灯する	電源不良 ~ 電源電圧が低過ぎる、あるいは高過ぎる	ライトはシャットダウンする。 → ライト本体の電源を一旦切り、適切な電源ソースに交換したのち、再度電源を入れる。
赤色の点滅(1回)を繰り返す	注意喚起 ~ 電源の電圧が低下しつつある	ライトは点灯を続ける。 → 電源ソースを交換する。
赤色の点滅(2回)消灯を繰り返す	注意喚起 ~ 本体が過熱状態に近付きつつある	ライトは点灯を続ける。 → ライト本体の空調(側面スリットや冷却ファンからの空気の流れ)が妨げられていないことを確認する。周囲の温度を下げる。電源を入れた状態でディマーを絞り、光量を0%として冷却ファンによる本体の冷却を促す。

インジケータ LEDの点滅状態	意味／原因	本体の状態／注意と対応方法
赤色の点滅 (4回→消灯)を繰り返す	放熱不良～本体が過熱している。	ライトはシャットダウンする。 → 電源を入れた状態でディマーを絞り、光量を0%として冷却ファンによる本体の冷却を促す。ライト本体の空調(側面スリットや冷却ファンからの空気の流れ)が妨げられていないことを確認する。周囲の温度を下げる。
赤色の点滅(1回→消灯→3回→消灯)を繰り返す	冷却ファンが停止している。	ライトは点灯を続けるが、光出力は半減している。 → 冷却ファンの回転が妨げられていないか確認する。必要に応じて冷却ファンモジュールを交換する。
赤色に点滅する (上記以外のパターン)	動作異常の可能性あり。	点滅の状態を確認した上で、お買い上げになった販売店にご相談ください。

お手入れについて:

ライト本体のお手入れの際は、電源コードを抜いてから乾いた布で拭いてください。クリーナー等の液体を本体にかけないでください。

仕様:

- 寸法 (HxWxD) : 45.0 x 41.3 x 13.4 [cm] (取り付けヨーク装着時)
質量 : 3.2 [kg] (Astra SOFTのみ 3.4 [kg])
電源 : 13~24 [V DC] / 100 [V AC] (専用電源アダプター使用)
専用電源アダプター出力: 24 [V DC]
最大消費電力 : Astra 6x およびSOFT … 105 [W] / Astra 3x … 55 [W]
使用環境 : 周囲温度 -20~+45 [°C] 周囲湿度 85 [%]以下 (結露無きこと)
保管・輸送環境 : 周囲温度 65 [°C]未満
同梱物 : ライト本体、取り付けヨーク、専用電源アダプター、専用電源コード、取扱説明書

お問い合わせ先:

ヴィデナムプロダクションソリューションズ株式会社

〒105-0011 東京都 港区 芝公園 3-1-38
芝公園三丁目ビル 1階
電話: 03-5777-8040 FAX: 03-5777-8041

大阪オフィス

〒531-0072 大阪市 北区 豊崎 5-2-13
電話: 06-6359-2440 FAX: 06-6359-2441

